



デジサポ岡山 News 最終号



発行:総務省 岡山県テレビ受信者支援センター（デジサポ岡山） VOL.27
'11年9月

◆ 地上デジタル放送への完全移行が無事完了。関係各位のご協力に感謝

センター長 井上陽司

7月24日にアナログ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行することができました。また、県内の各市町村役場のロビー等に開設してきた地デジ臨時相談コーナーも、8月26日に無事終了いたしました。

デジサポ岡山は2009年2月の開所以来、受信相談や調査、地デジ相談会・説明会、戸別訪問など受信者への地デジ移行の働きかけとサポートに取り組んでまいりました。相談会・説明会は、市町村の地デジ担当や福祉担当の皆さまに、計画段階からご助言やご支援をいただきながら開催してきました。また、対応の遅れが懸念されたビル陰等の受信障害対策共聴では、工事業者やケーブルテレビ会社の皆さまのご協力をいただき、施設のデジタル化改修の支援と共聴加入者への周知説明を行ってきました。さらに、地デジボランティアとして多くの団体、個人の方々に高齢者等への声かけのご協力をいただき、地デジ未対応世帯の掘り起こしができました。その結果として、大きな混乱もなく7月24日の地デジ完全移行を迎えることができました。これまでの関係者の皆さまのご協力に厚くお礼申し上げます。

今後もデジサポは、地デジの受信相談や「新たな難視地区」の受信対策など残された課題解決に向けて受信者支援を行ってまいります。引き続き皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 臨時相談コーナー チューナー配布や駆け込み相談に対応

6月15日の岡山市と倉敷市を皮切りにスタートした地デジ臨時相談コーナーには、連日多くの相談者が訪れました。7月4日から相談窓口でのNHK受信料全額免除と市町村民税非課税世帯へのチューナー支援の申請受付とチューナー手交の開始。また、同23日からは地デジ受信機の品薄で準備が間に合わなかった方に3ヶ月間のチューナー貸し出しも始まり、相談コーナーは大にぎわいとなりました。臨時相談コーナー開催期間中の相談者数は4,745人でしたが、アナログ終了直後はチューナー支援や貸し出しを求める方が多く集まり、3日間の相談者は571人と7月全体の18%を占めました。また、相談者の約8割が高齢者でした。相談人数は8月に入ると大幅に減少して、臨時相談コーナーの終盤では、1日平均30件程度に落ち着きました。



6月15日から8月26日までの臨時相談コーナーと戸別訪問の相談内容の内訳。

内容	臨時相談コーナー（複数選択）				戸別訪問活動（複数選択）			
	一般相談	チューナー支援	チューナー貸出し	戸別訪問受付	受信設備確認	受信状況	受信機の接続・設定	チューナー配布
件数	2,788	241	1,350	299	58	18	157	69



岡山市北区役所の臨時相談コーナー



地デジアドバイザーによる戸別訪問

◆電話受信相談 7月24日は169件、7月期は前月の2.7倍

7月1日からアナログ放送画面に常時カウントダウン表示が始まったことで、電話相談件数は前月に比べ大幅に増加しました。また、地デジ対応をしたが地デジが映らないといった受信不良の相談も増えました。7月に入って1日平均40件程度で推移していた相談件数は、23日に121件、24日は169件、翌25日が159件とアナログ放送終了直前に急増しました。いっぽう8月に入ると、電話相談件数は急激に減少して、8月下旬には1日平均で10件程度とほぼ収束状態となっています。7月、8月の相談内容は、チューナー支援やチューナー品薄に関するものが約半分を占め、その他に「映らない」「電波状況を教えて」などが続いています。

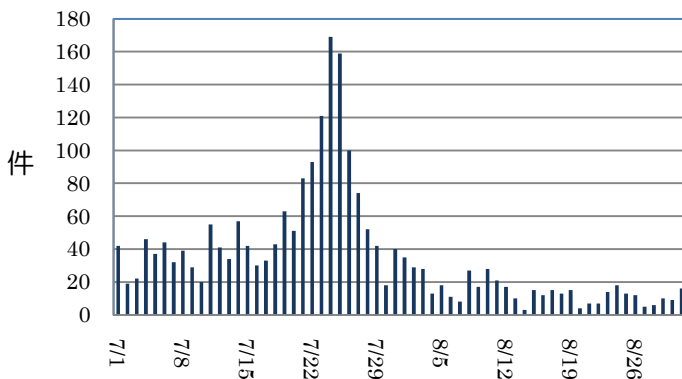
4月から8月までの受信相談件数は下表のとおりです。

相談受付件数

	コールセンター	直受け	計
4月	79	355	434
5月	102	540	642
6月	90	599	689
7月	423	1409	1832
8月	84	413	497
合計	778	3316	4094

相談受付区分

電波伝搬	自己受信設備	共同受信設備	建造物障害	技術相談	その他	対応中	計
18	28	0	0	273	115	0	434
18	30	0	0	439	155	0	642
50	139	4	3	313	180	0	689
68	238	4	3	768	751	0	1832
28	113	2	1	151	194	8	497
182	548	10	7	1944	1395	8	4094



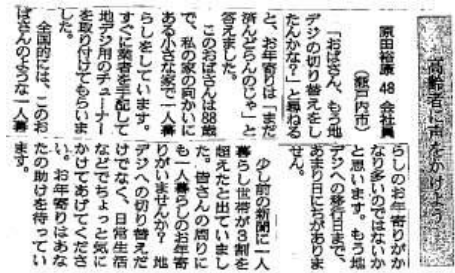
デジサポ岡山の電話応対件数（7月1日～8月31日）



7月24日の電話相談対応の様子

◆地デジボランティア活動 サイレント層に確認の声かけを！

テレビが映らなくなって困っている、いわゆる“地デジ難民”を探し出し、できるだけ早くレスキューしていく必要があります。デジサポ岡山では、特に高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者に対して「テレビは映っていますか？」と声をかけて確認する、「地デジボランティア活動」を8月末まで展開しました。ご協力いただいた県内20団体、約1万7千5百人の皆さまに感謝申し上げます。



山陽新聞に掲載された「声かけ」の投稿

◆周知・広報 停波前後にあらゆる場面で集中的に展開

アナログ放送終了の1カ月前から停波直後の期間に、効果的かつ多面的な周知広報活動を集中して展開しました。デジサポ岡山の相談電話番号の周知や各市町村で開設中の臨時相談コーナーの紹介、戸別訪問の申し込み受け付けなどに内容を絞って、相談窓口へスムーズに誘導する広告を展開しました。特に7月24日前後の数日間はマスコミの取材もあり、臨時相談コーナーやデジサポの活動状況がテレビ、新聞等で報道されました。また、アナログ放送終了後は、未対応者へのテレビを通じた周知ができないことから、新聞やラジオによる広報展開を行なうことで、素早いレスキューへと繋げていきました。

主な広報実績は次のとおり。

自治体広報紙 6月の23市町村に引き続いて、7月号は約9割にあたる25市町村で、臨時相談コーナーなど地デジ関連情報を掲載しました。また、8月号も12自治体で掲載がありました。

テレビ テレビせとうち、岡山放送、山陽放送（6月24日）、NHK岡山（同30日）の各局制作番組にアドバイザーが出演。7月5、7、14日の3日間、「NHKあさイチ」産直ライブにアドバイザーが出演して臨時相談コーナーをPRしました。

CATV 6月24日に「倉敷ケーブルテレビ」にアドバイザーが出演。7月8日には「oniビジョン」に出演。

新聞 6月24日の山陽新聞、10ページの地デジ広告特集が生まれ、デジサポの広告も掲載されました。7月は24、25日にも5段、7月26日から30日までは1面に突き出し広告を計4回掲載しました。

ラジオ 6月24日のRSKラジオにセンター長が番組出演して、早めの地デジの準備をお願いしました。7月19日の岡山市北区役所の臨時相談コーナーでは、中継が入りアドバイザーがインタビュー取材を受けました。また、CMスポットも6月に25本と7月に80本放送したほか、アナログ終了後の8月にも50本以上を放送しました。

FM 7月は「FM岡山」、「レディオモモ」、「FMくらしき」の3局で、それぞれスポットCMを2



山陽新聞で臨時相談コーナーをPR



「NHKあさイチ」でPR

〇本放送したほか、FM岡山とレディオモモの番組にセンター長が出演して地デジの準備について最後
のお願いをしました。8月は「レディオつやま」で25本のスポットを放送しました。

雑誌 「月刊タウン情報おかやま」の7月号にデジサポの広告を掲載しました。

ポスター 7月17日から30日までJR岡山駅地下コンコースに、「地デジカすんでますか?」と「で
んわ急げ!デジサポへ」のポスター各1枚を掲出しました。

7月25日、山陽新聞社会面へ5段広告掲載



JR岡山駅地下コンコースへ掲出したポスター

広報紙等への掲載 7月号は25自治体が掲載協力

- ▶**広報紙** 岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町（7月号）岡山市、倉敷市、笠岡市、井原市、新見市、備前市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、吉備中央町（8月号）瀬戸内市議会だより27号

- ▶**公式ウェブサイト** 岡山市、玉野市、笠岡市、井原市、備前市、真庭市

- ▶**新聞** 6月掲載分 山陽新聞（16日岡山市民版、18日・27日倉敷総社圏版、24日地デジ特集10カ面、25日地方経済面・笠岡井原圏版、28日玉野圏版・作州ワイド版）産経新聞（10日岡山版）中国新聞（12日解説面）岡山日日新聞（15日）読売新聞（24日岡山版）7月掲載分 山陽新聞（5日・8日・12日・16日高梁新見圏版、5日社説、7日・16日東備版、9日岡山市民版、15日倉敷総社圏版、17日社会面、19日・24日暮らし面、1日・23日、31日全県面、23日文化面・経済面、24日1面・社説・総合面・TV面、25日1面・社会面・第2社会面・総合面、26日経済面・第2社会面、）岡山日日新聞（23日1面）読売新聞（25日、26日岡山版）毎日新聞（25日岡山版）朝日新聞（28日岡山版）8月掲載分 山陽新聞（24日経済面、25日全県面）



山陽新聞掲載記事



朝日・読売・毎日・岡山日日新聞の記事

デジサポ岡山の各業務責任者が2年半を振り返る

デジサポ岡山が開設されてから2年半、アナログ放送の終了し、デジタル放送へ完全移行することでテレビ新時代を迎えることができました。デジサポ岡山の各業務責任者が2年半の支援活動を振り返り、それぞれの業務を総括して報告します。

【業務統括】 民放局の技術職を37年間経験した後のデジサポ勤務でした。畑違いの業務に戸惑いもありましたが、「アナログ放送の円滑な終了」のために全力投球してきました。業務全体の進行状況を把握し、年度ごとの行動計画を着実に遂行することに腐心しました。デジサポ内の抜群のチームワークに加え、関係団体各位のご協力は大きな支えとなりました。感謝申し上げます。「100%完了」をめざして、あとひと踏ん張りです。 (戸田 啓司)

【受信障害対策】 電話相談と訪問相談に丁寧かつ確実に対応し、サポートを続けてきました。最初のころは相談者も当方も余裕があり、試行錯誤を重ねながら確実な対応に努めました。相談の増加に伴い、体制も増強。7月24日の停波前後は相談件数も予測が立たない状況でしたが、11人のスタッフが全力を挙げて対応し、通常の約4倍の電話相談を乗り切りました。また、電測車も4クルーに増車し、通常の約2倍の訪問相談に対応しました。相談は、ほぼ収束状態にありますが、最後まで丁寧な対応を心がけて支援していきます。 (村木 邦久)

【共聴施設対策】 ビル陰電波障害の1,075施設管理者に対して共聴加入者への施設対応についての周知をお願いしました。届け出施設への要請は円滑にできましたが、無届け施設は管理者情報が少なく、割り出しに苦労しました。ほとんどの共聴施設は廃止されることになりましたが、改修した施設は312件あり、そのうち39施設が国の助成金を利用しました。集合住宅対応では、県宅建協会、同不動産協会加盟の147社を訪問、ほとんどの集合住宅で地デジ対応を完了していただきました。助成金を利用した施設改修住宅は24棟でした。 (笹岡 喜久雄)

【相談会・戸別訪問】 09年春から相談会、説明会、戸別訪問等の活動を開始し、特に大きな問題もなく無事に停波日を迎えることができました。これもひとえに関係者のご協力の賜物と、お礼を申し上げます。相談会・説明会は約2,400回開催、相談対応は約71,000人そして約12,500件の戸別訪問を実施しました。各アドバイザーは丁寧な対応を心がけ、多くの方に早期の準備をお願いできたと思います。今後も電話相談や戸別訪問でお困りの方を引き続き支援していきます。 (田中 直幸)

【周知・広報】 細大漏らさず、わかりやすくをモットーに周知広報に努めました。圧倒的訴求力を示した放送による周知に加え、広報紙は延べ約300回、新聞は約200本の記事掲載をしていただきました。最終盤の今年度は、自治体広報紙、放送、新聞、雑誌などを中心に多面的かつ集中的な広報活動を展開、岡山専用チラシの配布は約40万枚に及びました。地デジボランティアの皆さまのご協力も大きな支えとなりました。まだ若干の“地デジ難民”が残っていますが、できるだけ早くサイレント層を掘り起こし、完璧な地デジ化をやり遂げたいと思います。ありがとうございました。 (古川 三郎)